



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 第一カッター興業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1716 URL <https://www.daiichi-cutter.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安達 昌史
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務経理部長 (氏名) 義経 尚敏 TEL 0467-85-3939
 定時株主総会開催予定日 2026年9月29日 配当支払開始予定日 2026年9月30日
 有価証券報告書提出予定日 2026年9月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績(2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	20,089	△0.7	1,645	△0.1	1,886	5.3	1,600	20.5
2025年6月期	20,228	△3.3	1,647	△32.9	1,791	△36.7	1,327	△32.7
(注) 包括利益	2026年6月期		1,460百万円(△7.9%)		2025年6月期		1,586百万円(△19.7%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	142.23	—	8.1	8.3	8.2
2025年6月期	117.71	—	7.1	8.1	8.1

(参考) 持分法投資損益 2026年6月期 143百万円 2025年6月期 90百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	23,405	20,357	86.4	1,798.10
2025年6月期	22,247	19,358	86.4	1,709.54

(参考) 自己資本 2026年6月期 20,226百万円 2025年6月期 19,230百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	2,826	△1,875	△503	8,655
2025年6月期	1,699	△2,437	△515	8,209

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00	459	34.0	2.4
2026年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00	517	31.6	2.6
2027年6月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00		34.7	

3. 2027年6月期の連結業績予想(2026年7月1日～2027年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,700	△1.8	1,220	△12.6	1,290	△12.6	850	△30.0	75.56
通 期	20,700	3.0	1,950	18.5	2,090	10.8	1,460	△8.8	129.79

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年6月期	12,000,000株	2025年6月期	12,000,000株
2026年6月期	751,393株	2025年6月期	751,287株
2026年6月期	11,249,372株	2025年6月期	11,279,867株

(参考) 個別業績の概要

2026年6月期の個別業績 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	16,019	△0.8	1,001	△13.4	1,198	△11.4	1,151	6.5
2025年6月期	16,153	△2.6	1,156	△40.1	1,352	△37.5	1,080	△53.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	100.12	—
2025年6月期	94.06	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	19,234	16,954	88.1	1,474.50
2025年6月期	18,401	16,446	89.4	1,431.20

(参考) 自己資本 2026年6月期 16,954百万円 2025年6月期 16,446百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、物価上昇の影響が続く中、雇用・所得環境の改善や企業収益の底堅い推移を背景に、緩やかな回復基調が継続しました。一方、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化や米国の通商政策を巡る不確実性、資源・エネルギー価格の動向等については、国内経済に与える影響を引き続き注視する必要があります。

国内の建設投資につきましては、公共投資が底堅く推移するとともに、民間設備投資についても持ち直しの動きが見られ、建設投資全体としては堅調に推移しました。一方、建設資材・エネルギー価格の高止まりや労務費の上昇などの影響は継続しております。また、当社グループの主力事業が関連するインフラ維持・補修分野においては、社会インフラの機能維持・長寿命化に向けた中長期的な更新需要が見込まれるものの、高速道路関連工事を中心に、第4四半期以降の発注環境に変化が生じていることから、今後の受注動向を引き続き注視する必要があります。

このような状況の下、当社グループは受注の確保、施工体制の強化およびコスト管理の徹底に努めてまいりました。

その結果、当社グループの売上高は、切断・穿孔工事業において高速道路関連工事を中心に完成工事高が減少し、20,089百万円（前年同期比0.7%減）となりました。利益については、切断・穿孔工事業における工事採算の改善や施工効率の向上等により、完成工事総利益が増加しました。一方、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は1,645百万円（前年同期比0.1%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益など営業外収益の増加により1,886百万円（前年同期比5.3%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益として計上したことにより、1,600百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

(切断・穿孔工事業)

切断・穿孔工事業につきましては、高速道路リニューアル工事の受注が減少したことにより、完成工事高は19,421百万円（前年同期比1.0%減）となりました。また、外注加工費等の経費の抑制により、セグメント利益は2,836百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に大手デベロッパーの新規案件開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は667百万円（前年同期比8.8%増）となりました。一方、体制強化に伴う管理費等の増加により、セグメント利益は52百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金、土地等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,158百万円増加し、23,405百万円となりました。

負債につきましては、工事未払金が増加したものの、未払法人税等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ158百万円増加し、3,048百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ999百万円増加し、20,357百万円となりました。この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は86.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動で2,826百万円の増加、投資活動で1,875百万円の減少、財務活動で503百万円の減少となった結果、8,655百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動による資金の増加は2,826百万円（前年同期は1,699百万円の増加）となりました。主に、法人税等の支払額が322百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が2,214百万円、減価償却費が803百万円あったこと等によりです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動による資金の減少は1,875百万円（前年同期は2,437百万円の減少）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出が1,559百万円、定期預金の増加額が500百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動による資金の減少は503百万円（前年同期は515百万円の減少）となりました。主に、配当金の支払による支出が459百万円あったこと等によります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
自己資本比率（%）	77.4	77.1	83.1	86.4	86.4
時価ベースの自己資本比率（%）	75.7	74.6	82.7	64.3	64.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	12.7	17.1	16.7	21.0	9.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	1,072.6	1,678.8	1,501.4	994.6	1,499.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

わが国経済の先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や企業収益の底堅い推移を背景に、緩やかな回復基調が継続することが期待されます。一方、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化や米国の通商政策を巡る不確実性、資源・エネルギー価格の動向等については、国内経済に与える影響を引き続き注視する必要があります。

国内の建設業界におきましては、公共投資が底堅く推移するとともに、民間設備投資についても持ち直しの動きが期待され、建設投資全体としては堅調に推移することが見込まれます。また、当社グループの主力事業が関連するインフラ維持・補修分野においては、社会インフラの機能維持・長寿命化に向けた中長期的な更新需要は継続するものと考えております。

一方、建設資材・エネルギー価格の高止まりや労務費の上昇などの影響は継続することが予想され、収益性の確保や生産性向上への対応が重要な課題となっております。また、高速道路関連工事を中心に、発注環境の変化が継続する可能性もあることから、今後の受注動向を引き続き注視してまいります。

このような経営環境の下、当社グループは、切断・穿孔工事事業において、公共インフラ・高速道路等の維持・補修工事を中心に、長年培ってきた専門技術と施工実績を活かした営業活動を推進し、社会インフラの機能維持・長寿命化に貢献してまいります。

また、持続的な成長に向けて、新事業領域の開拓・拡大を加速してまいります。具体的には、レーザー工法など新施工技術を活用した新たな施工領域の開拓・拡大や、補修分野における施工前後工程への事業展開を推進すること等により、事業領域の拡大と提供価値の向上を図ってまいります。

さらに、取引顧客基盤の拡大に向けた営業活動を強化するとともに、人材の育成・採用を充実させ、成長を支える事業体制の強化に取り組んでまいります。

加えて、施工技術の高度化や業務効率化を目的とした研究開発投資、営業・施工・管理業務全般における生産性向上のためのシステム投資を継続し、競争力の強化に努めてまいります。

上記の取り組みにより、既存事業の収益力向上と新たな成長領域の創出を進めるとともに、専門技術を通じた社会インフラの持続的な発展に貢献し、企業価値の向上に努めてまいります。

翌連結会計年度の業績につきましては、売上高20,700百万円（前年同期比3.0%増）、利益については、工事採算の改

善を継続するとともに、収益性を重視した受注活動の推進、施工効率の向上およびコスト管理の徹底に取り組むことにより、営業利益1,950百万円(前年同期比18.5%増)、経常利益2,090百万円(前年同期比10.8%増)を見込んでおります。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に投資有価証券売却益を特別利益として計上した反動により、1,460百万円(前年同期比8.8%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性並びに事業内容等を踏まえ、日本基準を適用しております。なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮の上、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,929,000	10,879,896
受取手形・完成工事未収入金	3,880,274	3,330,395
電子記録債権	318,065	259,492
材料貯蔵品	134,955	150,538
その他	146,137	172,022
貸倒引当金	△5,269	△6,107
流動資産合計	14,403,164	14,786,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,148,101	3,287,663
減価償却累計額	△913,169	△1,044,938
建物及び構築物（純額）	2,234,932	2,242,724
機械装置及び運搬具	5,805,267	6,321,432
減価償却累計額	△4,649,317	△5,109,947
機械装置及び運搬具（純額）	1,155,949	1,211,484
工具、器具及び備品	138,743	145,724
減価償却累計額	△94,808	△110,087
工具、器具及び備品（純額）	43,935	35,637
土地	2,418,235	3,101,199
リース資産	240,797	219,825
減価償却累計額	△100,556	△120,668
リース資産（純額）	140,240	99,156
建設仮勘定	7,058	39,750
有形固定資産合計	6,000,351	6,729,952
無形固定資産		
のれん	82,522	11,375
その他	124,940	251,052
無形固定資産合計	207,463	262,427
投資その他の資産		
投資有価証券	1,314,110	1,224,212
繰延税金資産	73,017	147,162
長期未収入金	5,000	4,350
その他	255,430	260,739
貸倒引当金	△10,901	△9,271
投資その他の資産合計	1,636,657	1,627,193
固定資産合計	7,844,471	8,619,573
資産合計	22,247,636	23,405,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	882,783	774,217
1年内返済予定の長期借入金	34,536	34,336
リース債務	42,617	36,040
未払法人税等	81,796	394,016
賞与引当金	96,819	104,041
その他	1,065,925	1,150,555
流動負債合計	2,204,477	2,493,207
固定負債		
長期借入金	156,270	121,934
リース債務	98,052	63,521
役員退職慰労引当金	55,715	58,355
退職給付に係る負債	370,807	307,321
その他	4,159	3,882
固定負債合計	685,004	555,015
負債合計	2,889,482	3,048,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	479,556	487,104
利益剰余金	18,359,448	19,499,820
自己株式	△320,361	△326,329
株主資本合計	18,988,944	20,130,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246,313	58,670
退職給付に係る調整累計額	△5,156	36,503
その他の包括利益累計額合計	241,156	95,173
非支配株主持分	128,053	131,519
純資産合計	19,358,154	20,357,589
負債純資産合計	22,247,636	23,405,811

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高		
完成工事高	20,228,578	20,089,845
売上高合計	20,228,578	20,089,845
売上原価		
完成工事原価	14,398,542	13,914,287
売上原価合計	14,398,542	13,914,287
売上総利益		
完成工事総利益	5,830,036	6,175,557
売上総利益合計	5,830,036	6,175,557
販売費及び一般管理費	4,182,627	4,529,899
営業利益	1,647,408	1,645,657
営業外収益		
受取利息	694	14,647
受取配当金	5,535	7,983
受取保険金	21,062	45,562
持分法による投資利益	90,991	143,115
雑収入	36,489	45,832
営業外収益合計	154,774	257,141
営業外費用		
支払利息	1,708	1,884
為替差損	623	—
不動産賃貸原価	4,341	3,441
支払補償費	1,147	8,077
雑損失	2,494	2,518
営業外費用合計	10,315	15,922
経常利益	1,791,866	1,886,877
特別利益		
固定資産売却益	4,109	5,494
投資有価証券売却益	100,740	336,542
保険解約返戻金	9,565	—
特別利益合計	114,414	342,037
特別損失		
固定資産売却損	0	3,590
減損損失	30,173	—
固定資産除却損	21,732	10,770
特別損失合計	51,906	14,360
税金等調整前当期純利益	1,854,374	2,214,554
法人税、住民税及び事業税	483,345	615,545
法人税等調整額	32,805	△7,629
法人税等合計	516,150	607,915
当期純利益	1,338,223	1,606,638
非支配株主に帰属する当期純利益	10,461	6,596
親会社株主に帰属する当期純利益	1,327,762	1,600,042

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益	1,338,223	1,606,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228,090	△187,643
退職給付に係る調整額	19,687	41,660
その他の包括利益合計	247,777	△145,982
包括利益	1,586,001	1,460,656
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,575,540	1,454,059
非支配株主に係る包括利益	10,461	6,596

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	470,300	475,095	17,468,245	△243,063	18,170,577
当期変動額					
剰余金の配当			△436,558		△436,558
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,327,762		1,327,762
自己株式の処分		4,461		669	5,130
持分法適用会社の保有 する親会社株式の変動				△77,967	△77,967
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,461	891,203	△77,298	818,366
当期末残高	470,300	479,556	18,359,448	△320,361	18,988,944

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	18,223	△24,844	△6,621	121,365	18,285,321
当期変動額					
剰余金の配当					△436,558
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,327,762
自己株式の処分					5,130
持分法適用会社の保有 する親会社株式の変動					△77,967
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	228,090	19,687	247,777	6,687	254,465
当期変動額合計	228,090	19,687	247,777	6,687	1,072,832
当期末残高	246,313	△5,156	241,156	128,053	19,358,154

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	470,300	479,556	18,359,448	△320,361	18,988,944
当期変動額					
剰余金の配当			△459,670		△459,670
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,600,042		1,600,042
自己株式の処分		7,548		1,321	8,869
持分法適用会社の保有 する親会社株式の変動				△7,289	△7,289
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	7,548	1,140,372	△5,967	1,141,952
当期末残高	470,300	487,104	19,499,820	△326,329	20,130,896

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	246,313	△5,156	241,156	128,053	19,358,154
当期変動額					
剰余金の配当					△459,670
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,600,042
自己株式の処分					8,869
持分法適用会社の保有 する親会社株式の変動					△7,289
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△187,643	41,660	△145,982	3,465	△142,516
当期変動額合計	△187,643	41,660	△145,982	3,465	999,435
当期末残高	58,670	36,503	95,173	131,519	20,357,589

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,854,374	2,214,554
減価償却費	778,326	803,691
減損損失	30,173	—
のれん償却額	71,147	71,147
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△167,125	△791
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,414	7,222
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,949	2,640
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△12,016	△21,825
受取利息及び受取配当金	△6,230	△22,630
支払利息	1,708	1,884
持分法による投資損益 (△は益)	△90,991	△143,115
固定資産売却損益 (△は益)	△4,109	△1,904
固定資産除却損	21,732	10,770
投資有価証券売却損益 (△は益)	△100,740	△336,542
受取保険金	△21,062	△45,562
保険解約返戻金	△9,565	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△159	24,601
売上債権の増減額 (△は増加)	228,694	608,291
棚卸資産の増減額 (△は増加)	403	△15,583
仕入債務の増減額 (△は減少)	△139,626	△108,565
その他	58,064	20,441
小計	2,507,362	3,068,721
利息及び配当金の受取額	15,480	28,462
利息の支払額	△1,708	△1,884
保険金の受取額	21,062	45,562
法人税等の支払額	△846,575	△322,530
法人税等の還付額	3,403	7,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,699,024	2,826,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△748,487	△1,559,674
有形固定資産の売却による収入	4,121	5,504
無形固定資産の取得による支出	△97,182	△113,122
投資有価証券の取得による支出	△979	△1,018
投資有価証券の売却による収入	100,740	336,542
定期預金の預入による支出	△1,700,000	△800,000
定期預金の払戻による収入	—	300,000
非連結子会社株式の取得による支出	—	△7,000
非連結子会社の増資引受による支出	—	△50,000
保険積立金の積立による支出	△20,242	△19,625
保険積立金の払戻による収入	4,587	11,511
保険積立金の解約による収入	20,778	—
その他	△1,195	20,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,437,860	△1,875,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△35,537	△34,536
リース債務の返済による支出	△40,108	△6,350
配当金の支払額	△436,249	△459,896
非支配株主への配当金の支払額	△3,773	△3,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515,668	△503,914
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,254,503	446,277
現金及び現金同等物の期首残高	9,463,504	8,209,000
現金及び現金同等物の期末残高	8,209,000	8,655,278

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、本社で各事業の統括を行っており、「切断・穿孔工事事業」及び「ビルメンテナンス事業」の2つの事業活動を行っております。

主たる事業である「切断・穿孔工事事業」は、国内の各営業所単位で事業活動を行っており、子会社の内、株式会社ウォールカッティング工業、株式会社新伸興業、株式会社アシレ、株式会社ユニパックについては、当社統括のもと、各管轄する地域ごとに「切断・穿孔工事事業」を行っております。

「ビルメンテナンス事業」は、首都圏を中心に事業部単位で事業活動を行っております。

従って、当社グループは、事業を基礎としたセグメントから構成されており、「切断・穿孔工事事業」及び「ビルメンテナンス事業」の2つを報告セグメントとしております。

「切断・穿孔工事事業」は、工業用ダイヤモンドを使用した「ダイヤモンド工法」及び高圧水を利用した「ウォータージェット工法」による各種舗装、コンクリート構造物の切断・穿孔工事業務であります。

「ビルメンテナンス事業」は、集合住宅やオフィスビル等において、給排水設備の保守点検・貯水槽清掃・雑排水管清掃業務であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス 事業	計	
売上高				
一時点で移転される財又はサ ービス	17,705	—	17,705	17,705
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	19,596,740	614,133	20,210,873	20,210,873
顧客との契約から生じる 収益	19,614,445	614,133	20,228,578	20,228,578
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,614,445	614,133	20,228,578	20,228,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	19,614,445	614,133	20,228,578	20,228,578
セグメント利益	2,763,420	56,507	2,819,928	2,819,928
セグメント資産	18,382,903	807,922	19,190,826	19,190,826
セグメント負債	2,621,883	86,002	2,707,885	2,707,885
その他の項目				
減価償却費	723,033	8,725	731,758	731,758
のれん償却額	71,147	—	71,147	71,147
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	835,483	6,217	841,701	841,701

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス 事業	計	
売上高				
一時点で移転される財又はサ ービス	19,702	—	19,702	19,702
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	19,402,191	667,951	20,070,143	20,070,143
顧客との契約から生じる 収益	19,421,893	667,951	20,089,845	20,089,845
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,421,893	667,951	20,089,845	20,089,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	19,421,893	667,951	20,089,845	20,089,845
セグメント利益	2,836,204	52,693	2,888,898	2,888,898
セグメント資産	19,607,911	624,907	20,232,818	20,232,818
セグメント負債	2,504,773	94,805	2,599,579	2,599,579
その他の項目				
減価償却費	731,860	14,289	746,149	746,149
のれん償却額	71,147	—	71,147	71,147
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,359,140	31,688	1,390,828	1,390,828

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 売上高

(単位：千円)

売上	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,228,578	20,089,845
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	20,228,578	20,089,845

(2) 利益

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,819,928	2,888,898
全社費用(注)	△1,172,520	△1,243,240
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の営業利益	1,647,408	1,645,657

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

(3) 資産

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	19,190,826	20,232,818
全社資産(注)	3,056,810	3,172,993
その他の調整額	—	—
連結財務諸表の資産	22,247,636	23,405,811

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る資産であります。

(4) 負債

(単位：千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,707,885	2,599,579
全社負債(注)	181,596	448,643
その他の調整額	—	—
連結財務諸表の負債	2,889,482	3,048,222

(注) 全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る負債であります。

(5) その他の項目

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費 (注) 1	731,758	746,149	42,328	57,763	774,087	803,913
のれん償却額	71,147	71,147	—	—	71,147	71,147
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 (注) 2	841,701	1,390,828	12,800	302,018	854,502	1,692,846

(注) 1. 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに帰属しない資産の減価償却費であります。なお、賃貸不動産等に関する減価償却費は含めておりません。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る設備投資額であります。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

切断・穿孔工事業において、減損損失を30,173千円計上しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	切断・穿孔 工事業	ビルメンテナン ス事業	計	
当期末残高	82,522	—	82,522	82,522

(注)のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	切断・穿孔 工事業	ビルメンテナン ス事業	計	
当期末残高	11,375	—	11,375	11,375

(注)のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	1,709円 54銭	1,798円 10銭
1株当たり当期純利益	117円 71銭	142円 23銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,327,762	1,600,042
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,327,762	1,600,042
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,279	11,249

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2026年8月14日開催の取締役会において、会社法第165条第2項及び当社定款第6条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本政策の一環として、株主還元の充実、資本効率の向上及び株主構成の一層の安定化を図るため。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 70万株 (上限)
(発行済株式総数 (自己株式を除く。) に対する割合6.09%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 10億円 (上限) |
| (4) 取得する期間 | 2026年8月17日～2026年12月31日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による取得を予定 |